

開 心
静 聴
充 満
献 身
奉 仕

日本クリスチャン・アシュラム連盟

冬季号

日本アシュラム

Winter 1983

United Christian Ashrams of Japan

42

▼連盟は創始者の祈りによつて生まれたファミリーの全国的な交わりであつて、常に新しい家

△第二回講演▽

マタイ福音書の研究

ジェームス・マシューズ博士



アシュラムの標語である「イエスは主である」をいろんな国の言葉で言ってみよう。

英語はジーザス、イズ、ロード。ヒンズー語(印度)はイエス、パブ、ハイ。スペイン語はイエス、エル、セニョール。フィンランド語はイエス、オン、ヘルラ。マラテ語(ボンペー)はイエシユ、パブ、ア、ヘイ。イボン語(ボルネオ)イサ、ケッハー。

さて、どなたかにコリント第一の十六・二二を読んでいただきたい。「マラナタ、われらの主よ来りませ。」更にマルコ七・三を読んで下さい。「天を仰いでため息をつき、その人にエパタと言われた。これは『開けよ』という意味である。エパタはアシュラムの開心の時をさしている。マラナタもエパタもアラマイク語でイエスご自身が口にされた言葉である。

ジェームス・マシューズ博士
てみたい。前回の最後に一つ一つの章にそれぞれ中心となるような名前をつけた。それぞれの章を理解するための鍵をつけたようなものである。マタイ福音書は三つに分類することができる。(導入、宣教、受難と死)。

七・三八―二九を読んで下さい。「イエスがこれらの言葉を語り終えられたと、群衆はその教えにひどく驚いた。それは律法学者たちのようではなく、権威ある者のように、教えられたからである。」



マシューズ博士とユニス夫人

一・一には、「イエスは十二弟子にこのように命じ終てから、町々で教えまた宣べ伝えるために、そこを立ち去られた。」
一三・五三には「イエスはこれらの譬を語り終てから、そこを立ち去られた。」

一九・一には「イエスはこれらのことを語り終えられてから、ガリラヤを去ってヨルダンの向うのユダヤの地方へ行かれた。」

二六・一には「イエスはこれらの言葉をすべて語り終てから、弟子達に云われた。」

以上の五ヶ所には「イエスは語り終てから」という言葉が共通していることに気付かされる。

五・七を読んで下さい。「あわれみ深い人たちは、さいわいである。彼らはあわれみを受けるであろう。」

一〇・七には、「行つて『天国は近づいた』と宣べ伝えよ。」

一〇・一〇には、「旅行のために袋も、二枚の上着も、くつも、つえも持つて行くな。働き人がその食物を得るのは当然である。」

十三章には七つの譬語が記され、十八章は教会の生命であるコイノニアについて教え、二三―二五章は終末について教えている。

イエスの語りかけには三つのタイプがある。
A、八つの祝福のような説教
B、教会についての物語

発行人 大石 嗣郎
定価 一部60円 千60円

C、驚き、即ち譬話のような説教、
マタイ福音書は、このように説教、
物語、説教というふうの一つのリス
ム以て進められている。
次にマタイ福音書の場所について
学んでみたい。

一、四章 エジプトとガリラヤ
四、十八、十九、二十章 ガリラヤ
十九、二十章 エルサレム
二一、二二、二三章 エルサレムの途
上

四、十二を読んで下さい。「さて、
イエスは御霊によって荒野に導かれ
た。悪魔に試みられるためである。」
四章までの場所はガリラヤである。
一九、一「イエスはこれらのこと
を語り終えられてから、ガリラヤを
去ってヨルダンの向こうのユダヤの
地方へ行かれた。」場所はヨルダン
である。

二一、一「さて、彼らがエルサレ
ムに近づき、オリブ山沿いのペテパ
ゲに着いたとき、イエスはふたりの
弟子をつかわして言われた。『場所
はエルサレムへの途上で、その後は
最後までエルサレムでの物語になる。
マタイ福音書の時間の問題を見て
みたい。』

一、四章、誕生から宣教まで。大
体三〇年。四、二一、二二、二三章、
ある学者は一年と見ている。二一、
二八章、最後の二週間である。
マルコ福音書はエルサレム入場か
ら最後までを十一、十六章まで費し、

ルカ福音書は十九、二四章まで、ヨ
ハネ福音書は十二章から最後まで即
ち全体の半分を費している。
マタイ福音書は一週の出來事に全
体の四分の一を費している。この一
週間が私達にとって何を意味するか？
四つの福音書が最後の二週間に重要
な意味を持たせている。大変大切な
ことだから多くのページを費してい
るのである。

私達はマタイ福音書の場所と時に
ついて学んできた。次にマタイ福音
書の目的について学びたい。
五、十七を読んで下さい。「わた
しが律法や預言者を廃するためには
来た、と思つてはならない。廃するた
めではなく、成就するためにきたの
である。」

二〇、二八には、「それは人の子
がきたのも、仕えられるためではな
く、仕えるためであり、また多くの
あがないとして、自分の命を与える
ためであるのと、ちょうど同じであ
る。」

九、十三には、「わたしが好むの
は、あわれみであつて、いけにえで
はない」とはどういう意味か、学ん
でください。わたしがきたのは、義
人を招くためではなく、罪人を招く
ためである。」

以上三つの聖句に一つの共通点が
ある。それはイエスの宣教の目的で
ある。「罪人を招くためである」と
のみ言葉は、罪人の一人である私達

の希望である。
ではイエスはどんなふうにならば
携つて行かれたかをみたい。
四、二三、二四を読んで下さい。
「イエスはガリラヤの全地を巡り歩
いて、諸教会で教え、御国の福音を
宣べ伝え、民の中のあらゆる病氣、
あらゆるわずらいをお医しになつた。
そこで、その評判はシリヤ全地にひ
ろまり、人々があらゆる病にかかっ
ている者、すなわち、いろいろの病
氣に苦しみ悩んでいる者、悪霊につ
かれていた者、てんかん、中風の者
などをイエスのところに連れてきた
ので、これらの人々をお医しになつ
た。」

九、三五―三八には、「イエスは
すべての町々村々を巡り歩いて、諸
会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、
あらゆる病氣、あらゆるわずらいを
お医しになつた。また群衆が飼う者
のない羊のように弱り果てて、倒れ
ているのをごらんになつて、彼らに
深くあわれまされた。そして弟子たち
に言われた『収穫は多いが、働き人
が少ない。だから収穫の主に願つて、
その収穫のために働き人を送り出す
ようにしてもらいなさい』」。

イエスはどういう方法をおとりに
なつたか。教え、説教し、医しをさ
れたとあるが、もう一つ行為がある
ことをつけ加えておきたい。
一、十三には譬話はない。十二
章には奇跡があらわれる。十三、二

の希望である。
ではイエスはどんなふうにならば
携つて行かれたかをみたい。
四、二三、二四を読んで下さい。
「イエスはガリラヤの全地を巡り歩
いて、諸教会で教え、御国の福音を
宣べ伝え、民の中のあらゆる病氣、
あらゆるわずらいをお医しになつた。
そこで、その評判はシリヤ全地にひ
ろまり、人々があらゆる病にかかっ
ている者、すなわち、いろいろの病
氣に苦しみ悩んでいる者、悪霊につ
かれていた者、てんかん、中風の者
などをイエスのところに連れてきた
ので、これらの人々をお医しになつ
た。」

九、三五―三八には、「イエスは
すべての町々村々を巡り歩いて、諸
会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、
あらゆる病氣、あらゆるわずらいを
お医しになつた。また群衆が飼う者
のない羊のように弱り果てて、倒れ
ているのをごらんになつて、彼らに
深くあわれまされた。そして弟子たち
に言われた『収穫は多いが、働き人
が少ない。だから収穫の主に願つて、
その収穫のために働き人を送り出す
ようにしてもらいなさい』」。

イエスはどういう方法をおとりに
なつたか。教え、説教し、医しをさ
れたとあるが、もう一つ行為がある
ことをつけ加えておきたい。
一、十三には譬話はない。十二
章には奇跡があらわれる。十三、二

の希望である。
ではイエスはどんなふうにならば
携つて行かれたかをみたい。
四、二三、二四を読んで下さい。
「イエスはガリラヤの全地を巡り歩
いて、諸教会で教え、御国の福音を
宣べ伝え、民の中のあらゆる病氣、
あらゆるわずらいをお医しになつた。
そこで、その評判はシリヤ全地にひ
ろまり、人々があらゆる病にかかっ
ている者、すなわち、いろいろの病
氣に苦しみ悩んでいる者、悪霊につ
かれていた者、てんかん、中風の者
などをイエスのところに連れてきた
ので、これらの人々をお医しになつ
た。」

九、三五―三八には、「イエスは
すべての町々村々を巡り歩いて、諸
会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、
あらゆる病氣、あらゆるわずらいを
お医しになつた。また群衆が飼う者
のない羊のように弱り果てて、倒れ
ているのをごらんになつて、彼らに
深くあわれまされた。そして弟子たち
に言われた『収穫は多いが、働き人
が少ない。だから収穫の主に願つて、
その収穫のために働き人を送り出す
ようにしてもらいなさい』」。

イエスはどういう方法をおとりに
なつたか。教え、説教し、医しをさ
れたとあるが、もう一つ行為がある
ことをつけ加えておきたい。
一、十三には譬話はない。十二
章には奇跡があらわれる。十三、二

○章には一〇回の奇跡と五つの譬話
が記されている。二一、二八章には
奇跡はない。七種類の譬話が出てく
る。
全体に十七回の奇跡と十七の譬話
が記されている。奇跡は前半に記さ
れ、譬話は後半に出てくる。イエス
は行為してから教えられた。ここに
私達と違ふところがある。私達は教
えてから行おうとする。福音の行
いは先づ行ふことにある。福音は行
いので教えられる。

ここで私は英国の詩人キプリング
の詩を紹介したい。
私には六人の正直な僕がいる。
彼らは私の知つてゐることを皆教
えてくれた。

六人の名前は、「どこで」、「何
を」、「いつ」、「なぜ」、「どの
ように」、「誰と」である。
この六つの質問をしない限り、私
達は何も学ぶことが出来ない。この
質問に福音書自身が答えてくれる。
私がそれについて講演したのである。
あなたがた自身が学んだのであ
る。(植村俊雄 記録)

スタンレー・ジョーンズ博士の遺著
海老沢 宣道 訳
「神の然り」
B六判 二二〇頁
定価一三〇〇円・送料二五〇円
日本クリスチャン・アシラム
連盟発行

アシラムの五大原則
(一) キリストへの明渡し

アシラムの五大原則
(一) キリストへの明渡し

アシラムの五大原則
(一) キリストへの明渡し

アシラムの五大原則
(一) キリストへの明渡し

アシラムの五大原則
(一) キリストへの明渡し

アシラムの五大原則
(一) キリストへの明渡し

アシラムの五大原則
(一) キリストへの明渡し

アシラムの五大原則
(一) キリストへの明渡し

アシラムの五大原則
(一) キリストへの明渡し

アシラムの五大原則
(一) キリストへの明渡し

アシラムの五大原則
(一) キリストへの明渡し

アシラムの五大原則
(一) キリストへの明渡し

アシラムの五大原則
(一) キリストへの明渡し

アシラムの五大原則
(一) キリストへの明渡し

アシラムの五大原則
(一) キリストへの明渡し

アシラムの五大原則
(一) キリストへの明渡し

国際アシユラム委員会

昨年七月十六日午後一時、第五回国際アシユラム開催中の自由時間にヤルベンパ・ルーテル・センターの一室で開かれた。

出席者は米国二名(マシューズ、バーク)、カナダ(ハンター)、フィンランド四名、スエーデン四名、インド(タイタス)、日本二名(海老沢、大石)、西独二、東独一名、陪席(米二名)計十九名。

開会祈禱(ニールセン) 座長マシューズ師。まず今回フィンランド委員会の歓待を感謝し、次でガリラヤ湖畔のジョーンス記念館建設は長年の努力にも拘らず、イスラエル政府の許可を得られないことを報告、第六回国際アシユラムは一九八六年に米国で開くこと決定。北欧アシユラムをスエーデンにて一・二年後に開くこと、マシューズ夫妻は二年後に新たにスタンレー説教集を出版する予定を報告。

アシユラムの名称について、欧州代表から使用上の困難が表明された。東洋諸宗教の研修にも用いられているもので混乱を与えているという理由である。これには今後、単独にアシユラムと言わず、必ずクリスチャンをつけて称することに決定。質問や疑問が出る時こそ、われらのクリスチャン・アシユラムとは何かを証し

する好機であると見なされた。

海老沢がスタンレーの活動を映画にした『神の漁り人』を日本でも見せたいがと発言、スエーデンに於て各国向けを製作することになった。スタンレー生誕百年記念日は一九八四年一月三日であるから、各国に於て夫々記念行事を行なうこと。

アズベリー大学ではスタンレー・ジョーンス記念宣教学部を新設することになったとの報告あり。

ハンター兄は兄弟愛と平和の祈りを提唱、食卓などに置き、家族一同で祈るためカードを印刷、各国語にも翻訳して配布することになる。

インドのサトタル・アシユラムのため新しいジープを一万ドルで購入したが、不足金二千ドルあり、それに協力すること。また五十年記念基金五万ドルを設定し募金中で、何れにも各国の協力が期待されている。今回の第五回国際アシユラムの聖餐式での献金はフィンランド委員会に贈り、諸費用に当てる残余の用途も同委員会に一任することとした。

各国の活動報告

日本、八地区で年一回の他、各地で無数のミニ・アシユラム開催。

カナダ。五地区で定期的に開く。ドイツ。定期的に三地区。随時に英国と合同で守る。

インド。四地区で定期的に開催。米国。四十地区で定期的に、数百の地区で一日アシユラムを守る。

- (三) 聖霊の啓導と充満
- (四) 神の国の体験と献身
- (五) 教会への奉仕と伝道

カリビヤ。四地区の他はリーダーがある時に開く。

スエーデン。各地区共不定期。フィンランド。毎週末に国内のどこかで開く。毎年六〇地区で定期的に守るが、二地区は一週間の退修会をしている。年一回は旅行計画で守っている。

情報交換につき今後も米国本部との連絡を密にすることを協議。タイタス兄の祈を以て閉会した。

霊交の歌

日々の証し

山根 可哉

あさまだきおこそかにきくみ言を
みそばにわれは主をば仰ぎつ。

人はみな草にひとしきものなれど
我は主にあり永遠のいのちに。

今日もまた新らしき日を迎えけり
主よみ心のままにこの身を。

静まれと主の一言にわが心
主の安らぎにあずかりてあり。

主にありてきよく貧しき友を見る
その栄光は天にかがやく。

苦しみにひと夜をあかし明けにけり
病魔たおすは主にぞよるなれ。

アシユラムの使命

海老沢 宣道

アシユラムは教会のような組織でも団体でもありません。連盟と称してはいるが、各地同志との連絡を進展する事務局に過ぎません。初代教会の信仰に立って、現代教会と信徒の生活の欠けを補い、どこまでも主イエスに仕える運動です。

(一) 個人生活。自分を主とした生活からイエスを主とする生活に改変され、日々、聖書に聴従し、密室の祈りに於いて主の導きを受けます。

(二) 教会生活。イエスを主とした信者の交わりが生れた時に初代教会が誕生したように、今日の教会の中にも聖霊の御助けにより使徒御伝二章四二―四七節にある霊交(コイノニヤ)が体験されるように祈り求めます。

(三) 社会生活。聖化された信者は身も心も一切を主に献げて、教会から各家庭に。職場に、その他の人々との交わりに送り出され、福音を証し、霊的感化を与え、救霊のみわざに参与する者となります。

(四) 国際生活。主に在る一致は主が私たちに求めておられることです。から、教派、人種、国境をこえて一つなる神の国を待望し、永遠の平和のために祈り続けます。

JUCA小冊子(価百円)

各地ニュース

◇潮来教会第二回アシユラム

去十月十七日(日)朝から夕四時まで連盟理事岡田実師を迎え、五〇名参加の下、祝福に満ちた一日を守った。小野一良牧師と信徒一同よく祈りの準備をして聖霊の取扱いを受けた。午前六―八時に開心と静聴、九―十時に静聴を続行、十時半から礼拝、一時から教会活動の時、訪伝について、二―四時、充満献身の時を守り、その間に祈りの細胞六組に分れた時を持った。最初のニードが充満の時に具体的決意となつて喜びを分かち合うことができ感謝である。

◇札幌アシユラム(第三回)

去る十一月三日―四日、真駒内青少年センターに東京から横山義孝師を迎え二五名参集、(教団の集會とかち合う)少数乍ら新しい恵みを受けた。十時開会礼拝(平田)、十時半開心の時(横山祈りの)細胞、(一時と七時)二回、二時聖書マタイ二五章靈解(久保木)個人祈禱の時、連鎖祈禱、朝七時静聴は黙示録。二―三章(加藤)九時―十一時、充満献身の時(横山)日本アシユラムの歌を合唱。一同輪になり祈り聖霊を受けた。期間中断食した兄弟もある。静かな靈的覚醒を頂く、この運動を今後も静かに持続し広めて行きたい。連盟の協力を願う。遠路来援

された横山師に深謝する。

◇江古田教会第六回アシユラム

去十一月十四日(日)朝十時より関東地区委員満丸茂師を迎え、祈禱会、礼拝、交わり、静聴、恵みの時、充満の順序で夕四時まで、二五名参加して守り、聖書エペソ二章、ピリビ二章から生命の糧を頂いた。一同八十才を越えた満丸師の中に働く聖霊の力に感動を与えられ感謝した。

◇関東アシユラム委員会

去十月十三日にはマシューズ師を迎えての第二〇回の感謝と反省のために集まり、一月十八日に再び新西教会で、第二九回の準備に入り、本年九月二―四日、奥多摩福音の家で開くこと、主題標語などにつき語り合い、教職ミニ・アシユラムと城北の祈禱会が隔月交互に統開されていることを感謝した。また本年から関東北部アシユラムを深谷の菊池いう師を中心に新設すること決定。各地に根づくことを祈っている。

◇東京城北アシユラム(第十四回)

来る二月十一日(金、休日)午前九時半より中野区江原町三丁目江古田教会(海老沢宣道師)にて六教会共催の下、主題「常に主を思え」を掲げ、メッセージは、神山(天門)岡田(新宿西)島(更生)海老沢(江古田)の四牧師が取次ぐことになっている。御加禱を乞う。

個人消息

大石嗣郎兄(総務理事)一月二―三日

成田発、タイ国チェンマイ市に赴き、第九回太平洋エキユメニカル宣教会議に日本代表として出席、二七日無事帰国された。

淵江淳一兄(書記理事)去十二月末

を以て開拓伝道し十八年間教会された東小金井カンパウンド教会牧師を辞任され、今後は専らアシユラム運動、イエスの友会、東京宣教研究所などに奉仕される。新住所は府中市若松町一―二二―九。海老沢宣道兄(理事長)昨春は伝道に立つて五十年、今春は江古田教会に当って四十年の記念の年を迎え、主の御導きを心から感謝している。

山根可弑兄(常任理事)この度第三

歌集「日々のかかし」を目白ヶ丘マンション内祈りの家から出版された。領価六〇〇円―二五〇円。どの歌も師の烈々たる信仰から溢れ出た靈的メッセージを証している。

谷本清兄(中国地区委員長)

長年牧会された広島流川教会を辞し、今後は専ら平和運動に従事されるとの事。

アーマド・シャール博士(インド)

一昨年日本を訪問したいと申越されていたが、九五才の高令のため実現せず、昨年十月召天された。今年五月サトルで記念アシユラムが守られるとの事。祈平安。

総務だより 大石嗣郎

マシューズ博士夫妻の御来援は各地に多くの恵みをもたらし、今も感謝の言が送られてきて嬉しく思います。歓迎費の募金も各地から寄せられ、今一歩までに達しました。尚有志の御協力をお待ちします。

◇マシューズ歓迎費献金

(41号以降、一月末現在) 十五万円 関西アシユラム(中略) 累計 六〇一、五〇〇円

◇連盟賛助の祈り(41号以降)

関西アシユラム 五万円 東北アシユラム 六万円 関東アシユラム 五万円 (個人) 植村俊雄 五千元 大石嗣郎 一万円

以上小計 一七五、〇〇〇円

累計 三二八、七八〇円 以上の御協力を心より感謝。

好評・残部僅少

海老沢宣道著

アシユラムの原則と実際

定価三百円―七〇円 創始者スタンレー・ジョーンズの指導の下に書かれた平易な解説書。個人でもグループでも参考として活用を勧める。

東京都目黒区中央町1-21-10

日本クリスチャン・アシユラム連盟

▼アシユラムとは故スタンレー・ジョーンズ博士がインドの退修方式を取り入れて創始されたキリスト教の新しい祈禱生活運動である。